

助成を実施します。

市民相談については、相談者ニーズに応じた各種相談を実施するとともに、無料法律相談の開催回数を増やすことにより、市民相談サービスの充実を図ります。

防災行政については、「うるま市防災マップ」の見直しを行い、全世帯へ配布します。

また、防災避難通路整備事業及び防災倉庫等整備事業を実施するとともに、大規模災害時における応援・協力体制の強化を図るため、沖縄市と「相互応援協定」の締結に取り組みます。

消防行政については、消防救急無線のデジタル化及び（仮称）沖縄県消防共同指令センターの開設に向け、整備に取り組みとともに、訓練環境の整備として、具志川消防署訓練塔の建設工事に着手します。

地域防災力の要となる消防団員については、訓練等の充実により、災害に



【消防出初式 訓練の成果を披露】

強い組織を構築します。

また、救命率向上を図るため、応急手当講習会などの普及啓発に努めます。

石油コンビナート地区などの危険物施設の安全対策については、指導強化に努めるとともに、建築物の防火管理体制の強化並びに住宅防火の推進に取り組みます。

交通安全対策については、警察機関や交通安全協会と連携し、交通ルールの啓発活動等に取り組み、飲酒運転の根絶や交通死亡事故ゼロのまちを目指します。

防犯対策については、防犯協会を中心に市民と行政の三者連携による防犯活動の強化に努めます。

また、地域の安全確保のため、防犯灯の設置拡充と既設防犯灯のLED化を支援します。

基地問題については、安全性の懸念が払拭されないオスプレイの追加配備やF-15戦闘機及び救難ヘリコプターの相次ぐ航空機事故に、多くの県民が強い憤りを覚えました。

また、キャンブコートニー高層住宅改修工事に伴うアスベスト問題では、関係機関による実態解明に時間を要したことで、工事関係者をはじめ地域住民に大きな不安を与えました。

これら基地問題を解決するためには、加重的な基地負担の解消とともに、

日米地位協定の抜本的見直しが必要であり、基地から派生する事件・事故の再発防止についても関係機関と連携を図りながら、今後とも日米両政府及び米軍へ訴えていきます。

基地対策については、米軍航空機騒音測定を引き続き実施するとともに、データ蓄積をもとに、その実態把握と公表に努めることで、市民の安全安心な生活環境の確保に取り組みます。

また、ホワイトビーチの原子力潜水艦の寄港についても、国に対して寄港の中止と安全対策を求めてまいります。

行政改革については、第2次行政改革大綱に基づく実施計画の進捗状況を検証するとともに、必要な見直しを行い、「第3次うるま市行政改革大綱」を策定します。

また、庁舎の跡利用を含めた公共施設等のあり方については、「公共施設等マネジメント計画」に基づき、市民サービスのさらなる向上を目指し、将来にわたって持続可能な公共施設等の管理・運営を行います。

人事行政については、市民ニーズに応じた質の高いサービスが提供できるよう職員研修の充実を努め、うるま市全体の奉仕者としての資質の向上を図ります。

自主財源の要となる市税については、適正で公平な課税に努めるとともに、徴収率の向上と滞納繰越額の縮減

に引き続き取り組みます。

以上、平成26年度の市政運営にあたり、私の所信と予算案、主要事業の概要について述べてまいりました。

本年は、うるま市が誕生して10年目を迎えます。これまで新市建設計画に掲げられた道路や公園をはじめとする大型の公共施設整備を中心に取り組み、主要事業は概ね実施することができましたが、老朽化した学校施設整備などに引き続き取り組む必要があります。

今後も安全安心なまちづくりを推進していくため、期間延長した合併特例債や一括交付金などの財源を有効に活用し、地域ニーズを踏まえた「きめ細かな」事業の展開を図ってまいります。

私は、「うるま市はひとつ・市民協働のまちづくり」を基本に、本市の将来像である「人と歴史が奏でる自然豊かなやすらぎと健康のまち」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

結びに、市議会並びに市民の皆さまのご理解とご協力を申し上げ、私の施政方針といたします。

平成26年2月26日

うるま市長 島袋 俊夫